

日本共産党 6県代表が東北の要求携え政府に迫る

陸上イージス撤回・震災・復興くらしの願い実現へ全力



要望書を手渡すふなやま由美参院宮城選挙区候補と同席する高橋ちづ子衆院議員、紙智子参院議員、いわぶち友参院議員、岩手、宮城、福島代表ら。
(7月26日衆院第二議員会館)



要望書を手渡す齋藤美緒参院青森選挙区候補と同席する高橋ちづ子衆院議員、紙智子参院議員、いわぶち友参院議員、青森、秋田、山形の代表ら。
(7月25日参院議員会館)

住民の暮らしを守り、陸上イージス配備撤回、震災、原発事故からの復興を前進させるため、日本共産党国会議員団東北ブロック事務所は7月25日、26日の両日、204項目の要求を掲げて11省庁と交渉しました。参院選挙区候補、地方議員など、東北6県から計40名が参加。交渉には高橋ちづ子衆院議員と紙智子、いわぶち友両参院議員が同席しました。

青森、秋田、山形が88項目を要求

25日は、青森、秋田、山形の3県が88項目を要求しました。

防衛省には、秋田市への陸上配備型ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の配備計画撤回を強く求めました。防衛省側は「地元の不安を払拭し、理解を得られるよう説明していく」と回答。農水省には、感染が広がっているリンゴの黒星病について写真を示して要請。「高齢化のため、感染したリンゴの埋設処理まで手がまわらない」など農家の悲痛な声を紹介し、情報伝達の迅速化、効力のある薬剤の早期認定などを求めました。厚生省には、青森県の医師不足の解消を求め、「自治体の対策では追い付かない」「地域医療は崩壊の危機にある」と訴えました。

このほか、「幼児教育の無償化」、「種子法の

岩手、宮城、福島が116項目を要求

26日は、岩手、宮城、福島の3県が東日本大震災の復興政策など116項目を要求しました。

復興庁には、復興創成期間が2020年度に終了する問題で、復興措置の継続を求めました。復興庁側は、「期間後も国が前に立って取り組む」と答えました。経産省には、今年度までとなっている仮施設解体費用の助成期間延長を求めました。経産省側は、「今回の要望や現地の声を受けて、19年度以降の予算要

復活」、「東通原発1号機廃炉」、「米軍F16燃料タンク投棄事故の早期補償」、「全国学力調査の中止」などを要請しました。



紙智子参院議員



高橋ちづ子衆院議員



いわぶち友参院議員

求に反映させる準備を進めている」と答弁。「可能なら20年度までは助成を継続したい」と述べました。

被災地域の雇用創出を目的とした「津波補助金」で、申請した業者の43%が辞退する異例の状況を指摘。「補助

率が希望より低い」「事業が立て直せない」など業者の声を紹介し、基準の見直しを求めると、経産省側は「制度のあり方を検討していきたい」と答えました。

このほか「原発事故の損害賠償継続」、「復興交付金の査定基準改善」、「自治体職員の人材確保」、「JR大船渡線の鉄路での復活」、「石炭火力発電所の建設中止」などを要請しました。



要望書を手渡す浜田藤兵衛参院山形選挙区候補(中)と齋藤美緒青森選挙区候補(左)、奈良順子秋田市議候補(右)



要望書を手渡す加賀屋千鶴子秋田県議と鈴木さとし秋田市議



要望書を手渡す斉藤信岩手県議(中)と伊勢由典塩釜市議(左)宮本しづえ福島県議(右)



要望書を手渡す野口徹郎参院福島選挙区候補(中)と斉藤信岩手県議(左)、曾我ミヨ塩釜市議(右)

制度
解説

2019年7月
参院選投票方法

比例代表は
日本共産党

政党名を書きます。
個人名でも
投票できます。

選挙区は
候補者の名前

日本共産党の見解を紹介します

東北ブロックニュース
No.156 2018年8月23日

発行●日本共産党国会議員団東北ブロック事務所
〒980-0021 仙台市青葉区中央4丁目3-28 朝市ビル4階
TEL 022-223-7572 / FAX 022-264-2596
E-mail toblock@rose.ocn.ne.jp

安倍政権 退場! 東北の「声」を国会へ

参院比例-850万票・15%以上で 7議席を 東北ブロック比例60万票・15%必ず

2018年
第一次

全国遊説 6月3日～7月29日

東北6県で開催 延べ6,700人が参加

秋田 6月3日 秋田市児童会館



声援に応える紙智子参院議員、小池晃書記局長、藤村ゆり参院選挙区候補

青森 6月23日 青森市民ホール



声援に応える志位和夫委員長、紙智子参院議員、高橋ちづ子衆院議員、齋藤美緒参院選挙区候補、青森市議選候補者ら

山形 7月16日 山形テルサ
三川町なの花ホール



声援に応える穀田恵二国対委員長、紙智子参院議員、浜田藤兵衛参院選挙区候補、関徹県議＝三川町なの花ホール

岩手 6月10日 盛岡市都南
公民館キャラホール



声援に応える市田忠義副委員長、紙智子参院議員、統一地方選候補者

宮城 7月8日 仙台アエル



声援に応える小池晃書記局長、紙智子参院議員、ふなやま由美参院選挙区候補、統一地方選候補者

福島 7月29日 郡山ユラックス熱海



声援に応える小池晃書記局長、紙智子参院議員、野口徹郎参院選挙区候補、統一地方選候補者

6～7月にかけ、第一次全国遊説として東北6県の演説会が開催されました。また各県では「党を語るつどい」などが多彩に行われ、高橋ちづ子衆院議員、紙智子参院議員、いわぶち友参院議員が精力的に出席し、入党の訴えも行い、25人を超える方々を党に迎えています。



8月12日、高橋ちづ子衆院議員、いわぶち友参院議員が、8月5日から6日にかけての豪雨で147戸の住宅が浸水した山形県戸沢村を訪れ、冠水した蔵岡地区などで被害状況を調査しました。

高橋ちづ子 衆院議員 いわぶち友 参院議員 山形豪雨被害を調査

後11時すぎ、倒木や落雷で停電して電動ポンプが停止、稼働せず、蔵岡地区85戸の約8割が浸水、被害を拡大しました。

高橋氏は「以前から地域住民から要望のあった予備電源の未設置や、ポンプの排水能力などの計画が甘かったのではないかと厳しく指摘しました。」

紙智子 参院議員

青森リンゴ黒星病調査



7月27日、紙智子参院議員は、リンゴの黒星病被害の実態を調査するため、津軽農民組合の協力を得て、青森県弘前市内のリンゴ園地を訪れ、被害農家から要望を聞き取りました。

高橋ちづ子 衆院議員 塩釜水産ジウムに参加



8月18日、日本共産党宮城県議団と塩釜市議団、党塩釜市後援会主催の「塩釜の水産業を考えるつどい」が塩釜市魚市場2階で開催されました。高橋ちづ子衆院議員が挨拶、ふなやま由美参院宮城選挙区候補が参加しました。

視察には、安藤晴美県議と齋藤美緒県書記長（参院青森選挙区候補）、リンゴ生産が盛んな津軽地区管内で活動する市町の党議員団が同行しました。

「葉に黒い線がついていると気づいたのは5月末。次の日には木の葉全体が真っ黒になり、3日後には枯れ山になってしまった。あつという間だった」。新規就農して4年目の男性（40）はガックリと肩を落とし、被害の様子を語りました。紙氏は「きちんと国に声を届けます」と応えました。

近づく第6回 東北ブロック

日本共産党後援会交流・決起集会

9月9・10日 秋田県田沢湖高原

プラザホテル 山麓荘

委員の赤間廣志氏、塩釜蒲鉾（かまぼこ）連合商工業協同組合の阿部善久理事長、塩釜市魚市場買受人共同組合の阿部成寿常務理事、塩釜市魚市場の志賀直哉代表取締役社長、塩釜市団地水産加工業協同組合の岸柳乃布夫代表理事の地元水産業を代表する5人がパネリストとなり、生産者と消費者で現状と課題を共有しました。

全国はひとつ

（記載例）
選
制
度
紹
介
参
挙

参院比例代表は「日本共産党」と政党名で

参院比例代表は、政党名でも候補者名でも投票できます。